

# 図書館の本だな

～5・6年生 おすすめの本のリスト 2023～

## ケルトの白馬

ローズマリー・サトクリフ 作 灰島 かり 訳 ほるぷ出版 933-サ

昔、ブリテン島に、馬を飼うイケニ族が暮らしていました。族長の末息子ルブリンは、詩や音楽を絵に描くことができる若者です。南の部族との戦闘に負けて捕虜になったルブリンは、敵の長に「緑の丘に巨大な馬の絵を描け」と言われます。ルブリンは生き残りの一族を救うため、ある条件を出すのでした。

## ウソつきとスパイ

レベッカ・ステッド 作 桶渡 正人 訳 小峰書店 933-ス

ジョージは、引っこし先のマンションのごみ置き場にはってあったルーズリーフにかいてあるスパイ・クラブのミーティングに出てみることにしました。せまい部屋にはセイファードと妹のキャンディがいて真剣にスパイになりきっていました。ジョージもいっしょに、悪事をたくらんでいるミスターXの監視をします。

## だまされたトツケビ

神谷 丹路 編・訳 福音館書店 929-ダ

川のほとりの砂原では、毎晩トツケビたちがすもうをとって遊んでいました。砂原の向こうには、年老いた夫婦が住んでいます。おばあさんは、トツケビたちが大はしゃぎですもうをとっていたら、さぞ、おなかがかすくだろうと思いました。そこで町でそば粉をもらってきてムクをこしらえ、トツケビたちに持っていきました。(『恩返しをしたトツケビ』)

## ガリバーのむすこ

マイケル・モーパーゴ 作 杉田 七重 訳 小学館 933-モ

アフガニスタンに暮らすオマールの十歳の誕生日に戦争が始まりました。父も妹も死んで、母とふたりで難民になります。戦争がない安全なイギリスにむかって、乗ったゴムボートは、大嵐でこわれて海に沈んでいきました。オマールが次に目をさますと小指ほどの小さな人が大勢い

るふしぎな国に流れ着いていました。小さな人たちが「ガリバー！」と歓声をあげました。

## 火の鳥ときつねのリシカ

木村 有子 編訳 岩波書店 989-ヒ

王さまが持っている美しい庭には、毎日ひとつだけ金のりんごがなるめずらしい木がありました。ところがりんごはよく朝まで枝に残っていることはなく、どうしてりんごが消えてしまうのかだれにもわかりません。そのことを悲しんだ王さまは、りんごを持っていく者をつきとめようと、三人の王子に見はりに立つようにいいました。

## 戦争をくぐりぬけたおさるのジョージ

ルイーズ・ボーデン 文 福本 友美子 訳 岩波書店 726-ボ

ヨーロッパで戦争がはじまりました。1940年、戦争はもはや遠くのできごとではなくなり、ハンスとマーガレット夫妻は組み立てた自転車で何キロも走り、パリから脱出しました。ふたりがつくった絵本の、いたずらなこぎる『フィフィのぼうけん』の原稿も荷物にはっていました。そして、ふたりはポルトガルからアメリカ行きの船に乗りました。

## シャンシャン、夏だより

浅野 竜 作 講談社 913-ア

「クマゼミの声をこの町できいたことある？」六年生のノブトは転校生の川村にいわれて気づきましたが、この町でクマゼミを見かけたことはありませんでした。夏休みの自由研究で、クマゼミがこの町にすみついていることを証明できれば、全校朝会で表彰されるかもしれません。ノブトはセミのヌケガラ集め競争に参加するため、ひとりで電車に乗りました。

## クローディアの秘密

E. L. カニグズバーグ 作 松永 ふみ子 訳 岩波書店 933-カ

クローディアは、不公平な待遇や、同じことをくりかえすばかりのまいにちにあきあきし、家出を計画しました。おこづかいを貯め、口がかたいお金持ちの弟、ジェイミーを仲間にしたクローディアは、バイオリンケースとトランペットケースに下着を詰めこみます。そしてふたりは、ニューヨークのメトロポリタン美術館にかくれしのぶことにしました。

# 宇宙食になったサバ缶

小坂 康之・別司 芳子 著 小学館 667-コ

宇宙飛行士の野口さんが国際宇宙ステーションでおいしそうにサバ缶を食べています。この映像が宇宙から届く13年前、福井県立小浜水産高校の生徒が「ここでつくったサバ缶を、宇宙に飛ばせるんちゃう？」と言いました。この一言から宇宙食サバ缶への挑戦が始まりました。

# 富士山うたごよみ

俵 万智 短歌・文 U.G.サトー 絵 福音館書店 E-ユ

大暑は、夏休みがはじまる頃です。何をして遊ぼうか？そんな気持ちを短歌にすると『まだ何も書かれていない予定表なんでも書けるこれから書ける』。一年でもっとも寒い大寒の頃は『寒いね』と話しかければ『寒いね』と答える人のいるあたたかさ。立春から大寒まで二十四に分かれた季節を、富士山とうたで楽しむ絵本です。